

チョコレート工場 to 市議会

企業に選ばれるまちへ

企業誘致事業により香取市にチョコレート工場ができました。
令和2年9月に本格稼働した平塚製菓(株)と市の企業誘致の
取り組みをご紹介します。

【香取市への工場進出の決め手とは】

当初は本社のある埼玉県草加市の近隣で探していましたが、頓挫している状況でした。実は、令和3年は平塚製菓創業120周年。そこで掲げた目標の1つが「新工場を建てよう」だったんです。そんな時、香取市をご紹介いただき、草加市や都心から約110kmも離れていましたが「見てみよう」と思いました。実際に来て見てみると、とにかく環境がいい！近くには雄大な利根川が流れ、自然も豊かで土地もフラット。製造業としては、生産ラインを水平に直線で作れることが重要なんです。充分、工場の立地に向いていると判断しました。

【香取市に立地について】

今回の誘致のお話で、要望通りの設備も導入することができて大変ありがたいものでした。地元の人材採用にしても、集めるのが大変かなと思いましたが、多くの応募をいただきました。香取工場を本格稼働させたのが、令和2年9月でしたから、ちょうどコロナ禍でもありました。コロナによって売り上げは激減しましたが、収束す

れば忙しくなると思っています。「あの時、工場を建てて良かったね」と思えるようがんばっていますよ。

【地元特産品を生かした商品開発】

地産地消という観点からもやっつけていかないといけないと考えています。おかげさまでファクトリーショップも順調で、現在、千葉県産落花生を使用した「ピーナッツチョコレート」を製造販売しています。今後も、サツマイモやブドウ、イチジク、キウイなどを使っていきたいと考えています。

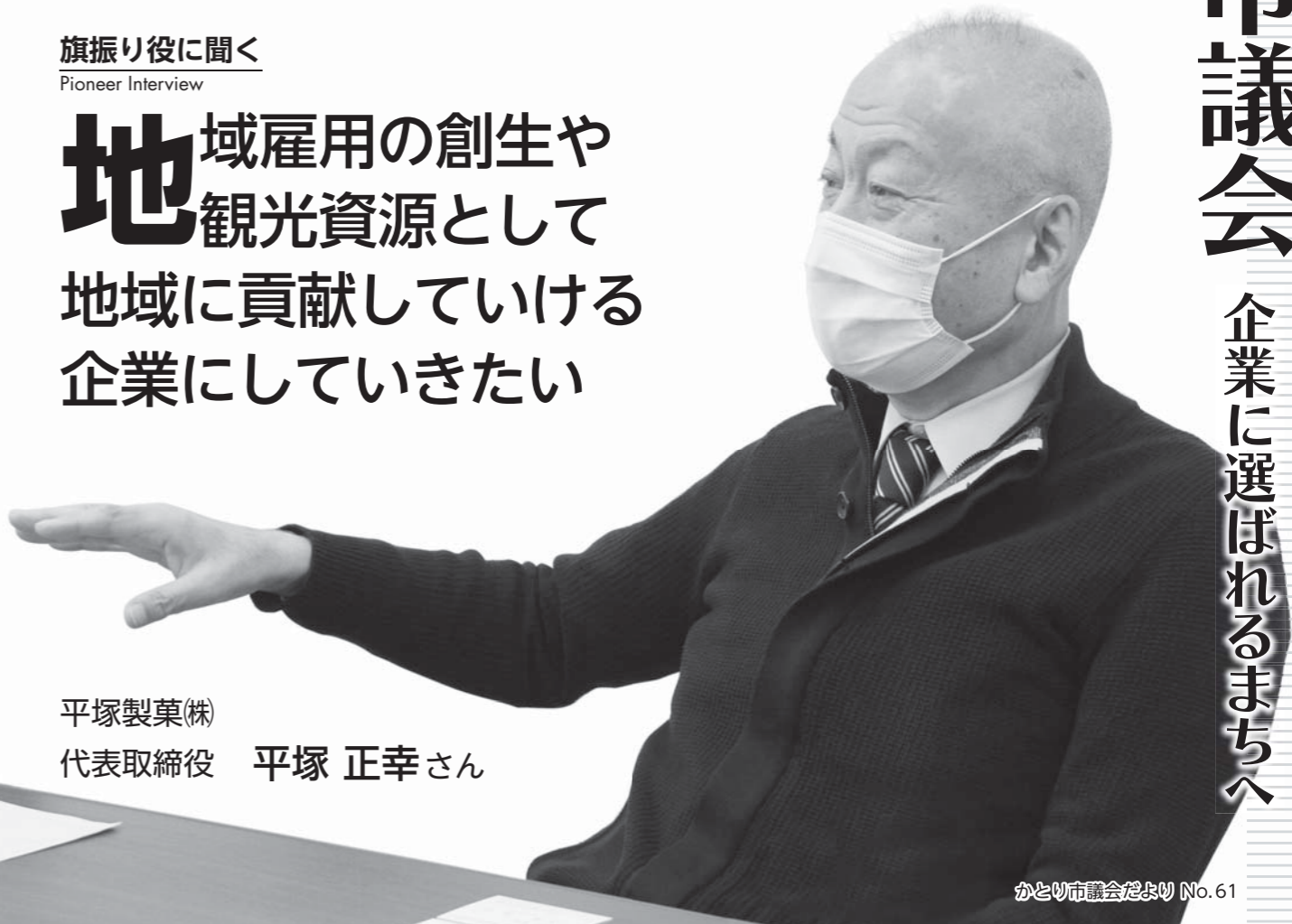
【今後の展望】

香取工場は6ライン可能ですが、現在は4ラインの稼働です。誘致していただいたのですから、コロナを乗り越え、フル稼働にして更に生産規模を大きくし、雇用の促進につなげていきたいですね。香取市は佐原の町並みをはじめ、素晴らしい観光名所が多いですよ。香取に来たら、「チョコレートを買って帰ろうかな」となるよう、観光ルートの一つとして、市のお役に立てるようご協力していきたいと思っています。

旗振り役に聞く Pioneer Interview

地域雇用の創生や 観光資源として 地域に貢献していける 企業にしていきたい

平塚製菓(株)
代表取締役 平塚 正幸さん



【営業日】 月～日
【営業時間】 9:30～16:30
【定休日】 お盆、年末年始等
※営業時間・定休日は変更となる場合がありますので、店舗にご確認ください。直通TEL 070-2466-2954

◀国内で唯一カカオ栽培から収穫、発酵まですべてを行っている(東京カカオ)



企業誘致の取り組み

市では、地域経済の基盤となる企業の誘致により、若者や子育て世代の希望を叶える働き方や雇用の場の確保を創出し、また、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進することにより定住人口の減少を食い止めるとともに、移住へつながるような情報発信や支援を行っています。

今般、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、東京に人口や企業が集中するリスクが明らかになったことを受け、首都機能の移転・分散の議論が活発化し、地方への分散を検討している動きも出てきています。そのような中、市が誘致した企業の一つで、チョコレートを中心とした菓子製造業の平塚製菓(株)(本社は埼玉県草加市)が令和2年9月、小見川地域に新工場をオープンしました。操業開始当初は従業員41人(うち市内在住者23人)で、令和3年4月1日現在は従業員42人(うち市内在住者30人)です。

また、このたび赤い外装が特徴のファクトリーショップが同敷地内にオープン。アウトレット価格のため、多くのお客さんでにぎわっています。



ファクトリーショップ

香ばしいクッキーにラム酒香るレーズンを挟んだレーズンサンド

千葉県産落花生をふだんに使用したピーナッツチョコレート

いちおし!

いろいろな味が楽しめる 欲張りさんのミックスチョコレート

ファクトリーショップ店舗スタッフの皆さんにおすすめ商品をご紹介します。

Map

詳しいMapはwebで!